

データサイエンスの利活用

関連キーワード: バイズ統計、統計モデル、データの可視化

研究内容

- ・ (1) 景気動向を捉える統計モデルの開発
各種経済統計から景気成分、景気の転換点、変動リスクを抽出する統計モデルの開発を行っている。
- ・ (2) 高次元データの効率的推定方法の開発
データ数や種類が非常に多いビッグデータ環境において生じる計算負荷の増大を如何にして抑えるかについて研究している。
- ・ (3) トレンド・サイクル分析
昨今の物価変動のように、循環的動き（サイクル）と大きな傾向（トレンド）を捉える統計モデルの開発と推定方法の構築を行っている。

研究者プロフィール

- ・ 経済学部経済学科 教授 大塚芳宏
- ・ 専門分野: 景気循環分析・時空間計量経済分析
- ・ 研究分野: 景気動向指数のモデル化
- ・ 所属学会: 日本統計学会、景気循環学会
- ・ 主な経歴: 2023年度中原記念奨励賞（景気循環学会）受賞、ビッグデータサイエンティスト（米国DASCA主催）の資格講師

地域・産学官連携の可能性、事業化のイメージ他

- ・ (1) データ分析人材の育成: 対象は自治体・民間企業
統計基礎から機械学習までの範囲において、統計分析のノウハウおよび実践を指導
- ・ (2) 統計モデルの開発: 対象は自治体・民間企業
需要予測のモデル開発から景気指標の開発まで時系列モデルを用いて、行う。

研究者への連絡先

産学連携推進センター

Email srcenter@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

電話 022-354-8122